

## 「安全対策情報（2014年10月～12月）」

### 1 社会・治安情勢

管轄5州では特異事案の発生もなく、引き続き治安は安定しています。

ミズーリ州ファーガソン市で発生した警察官によるアフリカ系アメリカ人住民射殺事件に関し、11月24日、当該警察官を不起訴処分とする決定がされて以降、全米各地で抗議活動が行われましたが、管轄5州における抗議活動に関しては大きな混乱等なく終了しています。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) ナッシュビル州都圏警察が発表した第4四半期（10月～12月）の犯罪統計によると、殺人や強盗、強姦など凶悪犯罪と住居侵入や窃盗など財産犯罪をあわせた主要犯罪認知件数は7,686件であり、昨年同時期と比較して5.6%増加しています。第3四半期に引き続き、ダウンタウンを擁するセントラル地区において強姦及び強盗事件が増加傾向にあります。昨年8月、バンダービルト大学等を含むミッドタウン地区に警察署が新設されましたが、同地区では昨年同時期と比較して殺人、強盗、強姦及び空き巣などの侵入盗件数が減少するなど、主要犯罪認知件数が減少しました。ナッシュビル市を含むデイヴィットソン郡全体における主な罪種別の内訳（昨年同時期認知件数・増減率）は以下のとおりです。

殺人	11件（7件・57.1%増加）
強姦	146件（133件・9.8%増加）
強盗	434件（373件・16.4%増加）
侵入盗（一般住宅対象）	870件（1,186件・26.6%減少）
自動車盗	305件（297件・2.7%増加）

- (2) ケンタッキー州レキシントン市警察が発表した第4四半期（10月～12月）の犯罪統計によると、殺人、強姦、強盗、侵入盗等主要犯罪認知件数は5,769件であり、第3四半期（7月～9月）の6,454件から11.9%減少しています。罪種別では、強姦が、昨年同時期と比較して40%減少しましたが、殺人件数は8件と倍増しています。主な罪種別の内訳（昨年同時期認知件数・増減率）は以下のとおり。

殺人	8件（4件・100%増加）
強姦	15件（25件・40%減少）
強盗	143件（148件・3.4%減少）
侵入盗	638件（668件・4.5%減少）
自動車盗	241件（230件・4.8%増加）

- (3) 邦人被害事案

期間中、邦人被害事案に関する報告はありません。

(4) 邦人以外の被害事案

ア 10月29日 テネシー州ナッシュビル

午後9時30分頃、テネシー州立大学付近を歩いていた女子学生2人がけん銃を持った犯人から金品を要求される事件が発生しました。被害者が犯人に抵抗した際に銃撃を受けたため、軽傷を負いました。

イ 12月初旬 ルイジアナ州ニューオーリンズ

12月1日から7日の間、フレンチクウォーター地区及びその周辺路上において、通行人を標的としたけん銃強盗事件が4件発生しました。

3 テロ・爆弾事件発生状況

関連情報には接していません。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

特異な事案に関する情報には接していません。

5 日本企業の安全に関わる問題

関連情報には接していません。

以上